



月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jimou@geppou.asj.or.jp 宛。

なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 までお送り下さい。

## 人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目に従ってご投稿下さい。結果は必ずお知らせ下さい。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

### 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部教授

1. 教授（教育職）
2. 宇宙科学研究本部 大気球観測センター
3. 気球工学
4. 大気球観測センターにおいては、科学観測用大型気球の研究開発、大気球を用いた科学観測の実施、大気球を利用した宇宙工学実験の支援等により、宇宙科学研究本部の各種プロジェクトに寄与しています。今回の公募では、特に科学観測を目的とした大型気球の開発、観測システムの設計および最適化等、気球工学に関する十分な学識と幅広い研究能力を有し、また国際協力を含む国内外の気球実験においてもリーダーシップを発揮してプロジェクトに貢献できる有為な人材を期待します。また、大学共同利用の機能を有する当研究本部の役割を理解し、内外の研究者等と協調して研究を遂行するとともに、大学院学生の教育・指導にも十分な能力のある方を希望します。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期  
(2) なし（定年 63 歳）
6. 博士の学位を有する者
7. (1) 履歴書、(2) 研究歴、(3) 論文リストと主要論文別刷、(4) これまでの研究概要と今後の研究計画（当該センターの役割・ビジョンに関する記述も含む）、(5) 推薦書 2 通または照会可能者 2 名の氏名と

### 連絡先

8. 平成 17 年 12 月 5 日（月）必着
9. (1) 〒229-8510 相模原市由野台 3-1-1  
宇宙科学研究本部・庶務課人事係  
(2) 同本部 研究総主幹 小杉健郎  
Tel: 042-759-8175  
e-mail: kosugi@solar.isas.jaxa.jp
10. 封筒に「大気球観測センター教授応募書類在中」と朱書き、書留便にて送付のこと。応募書類は返却しません。選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担。
11. 選考は宇宙科学研究本部宇宙科学運営協議会にて行います。

### 愛媛大学理学部物理学科教員

1. 助教授、または講師 1 名
2. 基礎物理科学講座（平成 18 年度から部局化に伴い、大学院理工学研究科数理物質科学専攻基礎物理科学講座となります）
3. 宇宙物理学（実験）
4. 研究活動（主に X 線天文衛星を用いた宇宙の研究・機器開発）、共通教育、学部専門教育、大学院教育ならびに学部・学科の運営に関わる業務
5. (1) 平成 18 年 4 月 1 日以降のなるべく早い時期  
(2) なし（定年 65 歳）
6. 博士号取得者
7. (1) 履歴書、(2) 研究業績リスト、(3) 過去 3 年間の科研費、研究助成金および特許の取得状況、(4) 主要論文別刷（コピー可）5 編、(5) 研究概要（1,000 字程度）、(6) 着任後の研究計画（1,000 字程度）、(7) 教育研究の抱負（1,000 字程度）、(8) 推薦書 2 通あるいは照会可能者 2 名の氏名と連絡先
8. 2005 年 12 月 16 日（金）必着
9. (1) 〒790-8577 松山市文京町 2-5  
愛媛大学理学部人事委員会委員長 野倉嗣紀  
(2) 同物理学科長 江沢康生  
Tel: 089-927-9581  
Fax: 089-927-9580（物理事務室）

e-mail: ezawa@phys.sci.ehime-u.ac.jp

10. 封筒に「物理学教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付すること。最終段階で、講演をお願いし、面接を行うことがあります。

## 独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 助教授 (教育職)

独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) は、下記のとおり助教授 (教育職) の公募を行いますので、広く適任者の推薦、応募を求めます。

1. 助教授 (教育職) 1 名
2. (1) 配属予定部署: 宇宙科学研究本部 赤外・サブミリ波天文学研究系  
(2) 神奈川県相模原市
3. 赤外・サブミリ波天文学
4. 赤外・サブミリ波天文学研究系では、人工衛星・観測ロケット・大気球を用いて、大気圏外から赤外線・サブミリ波領域の観測的天文学研究を行っています。現在、中心となるプロジェクトは赤外線天体サーベイ観測により銀河・星・惑星系の形成と進化を追う ASTRO-F 衛星です。また、さらに将来の赤外線天文ミッションの検討も進行中です (<http://www.ir.isas.jaxa.jp/index-j.html>)。

今回募集する赤外・サブミリ波天文学研究系・助教授には、ASTRO-F 衛星の運用およびデータ解析、およびそのデータを用いた天文学研究において、中心的な役割を担っていただく方を求めています。また、さらに将来のミッションをにらんで、赤外線天文学の研究、あるいは赤外線観測技術の開発を推進していただくことも期待しています。

研究の遂行に当たっては、大学共同利用の機能を有する当研究本部の役割を理解し、内外の研究者と協調して進めるとともに、大学院学生の教育・指導にも熱意のある方を希望します。

5. 決定後できるだけ早い時期
6. 博士の学位を有する者
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 論文リストと主要論文別刷, (4) これまでの研究概要と今後の研究計画, (5) 他薦の場合は推薦書 2 通, 自薦の場合は本人について意見を述べることできる方 2 名の氏名と連絡先 (住所, 電話番号, 電子メールアドレス)。
8. 平成 17 年 12 月 15 日 (木) 必着
9. (1) 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1  
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部  
庶務課人事係

Tel: 042-759-8010

- (2) 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部  
赤外・サブミリ波天文学研究系  
研究主幹 村上 浩

Tel: 042-759-8159

e-mail: hmurakam@ir.isas.jaxa.jp

10. 封筒の表に「赤外・サブミリ波天文学研究系助教授応募書類在中」と朱書きして、書留便にて郵送して下さい。応募書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承下さい。また、選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担となります。

11. (1) 待遇
  1. 給与: 能力・経験を考慮の上、機構の規定により決定。
  2. 休日休暇: 機構の規定による。(教育職特別あり)
  3. 勤務地: 相模原キャンパス。
  4. 任期・定年: 任期なし。63 歳 定年制。
  5. 宿舍: 独身用・世帯用が用意されていますが、空室状況等により入居のご希望に添えない場合には、機構の規定により住宅手当が支給されます。
  6. 社会保険: 各種社会保険完備 (健康保険, 厚生年金保険)
- (2) 選考は宇宙科学研究本部宇宙科学運営協議会にて行います。
- (3) 個人情報の利用目的について  
宇宙航空研究開発機構の教育職公募に関連して提供された個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、すべての個人情報を責任を持って破棄いたします。

## 山口大学理学部物理・情報科学科教員

1. 助手 1 名
2. 物理学講座
3. 実験物理学または電波天文観測。
4. 当講座の高分子, 磁性, 構造相転移, 誘電体, 電波天文のグループと協力して研究に取り組むとともに、新しい分野を開拓する意欲のある方。担当科目: 共通教育および専門教育の実験および演習。
5. (1) 2006 年 4 月 1 日  
(2) 5 年, 但し審査の上, 1 回再任可
6. 博士号取得者, 又は着任までに取得見込みの方。着任時に 35 歳以下が望ましい。

7. (1) 履歴書(写真添付), (2) 研究業績リスト, (3) 主要論文別刷 5 編以内, (4) これまでの研究内容の概要 (A4 判 2 枚), (5) 着任後の研究計画と教育に対する抱負 (A4 判 2 枚), (6) 推薦書又は照会可能者 2 名の氏名, 所属, 連絡先
8. 2006 年 1 月 10 日(火) 必着
9. (1) 〒753-8512 山口市吉田 1677-1  
山口大学理学部自然情報科学科物理学講座  
主任 朝日孝尚
- (2) 同上  
Tel: 083-933-5761  
e-mail: hcc30@yamaguchi-u.ac.jp
10. 2006 年 4 月に自然情報科学科から物理・情報科学科に改組予定. 封筒に「物理学講座教員応募書類在中」と朱書きし, 簡易書留で送付のこと. 書類選考後, 面接を行う.

#### 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部 高エネルギー天文学研究系 助手(教育職)

1. 助手 1 名
2. (1) 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部  
高エネルギー天文学研究系
- (2) 神奈川県相模原市
3. 高エネルギー天文学, 高エネルギー宇宙物理学
4. 高エネルギー天文学研究系では, 飛翔体を用いた高エネルギー天文学・宇宙物理学の観測的研究, 及び, それに関連する新しい観測装置の研究開発を行っています. 今回募集する高エネルギー天文学研究系・助手には, 将来の高エネルギー天文学・宇宙物理学の観測を目指した観測機器の研究開発に大きな役割を果たすことを期待しています. また, 研究系内の他のスタッフと協力して X 線天文衛星の運用を行うとともに, それを用いた高エネルギー天文学・宇宙物理学の観測的研究にも大きな成果を上げることが期待されます. さらに, 大学共同利用の機能を有する当研究本部の役割を理解し, 内外の研究者等と協調して研究を遂行するとともに, 大学院学生の教育・指導にも積極的にあたる方を希望します.
5. 決定後できるだけ早い時期
6. 博士の学位を有する者(平成 18 年 3 月末までに取得見込みを含む)
7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 論文リストと主要論文別刷, (4) これまでの研究概要と今後の研究計画, (5) 他薦の場合は推薦書 2 通, 自薦の場合は本人について意見を述べることできる方 2 名の氏名と連

絡先(住所, 電話番号, 電子メールアドレス).

1. 平成 17 年 12 月 15 日(木) 必着
9. (1) 〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1  
宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部  
庶務課人事係  
Tel: 042-759-8010
- (2) 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部  
高エネルギー天文学研究系  
研究主幹 満田和久  
Tel: 042-759-8132  
e-mail: mitsuda@astro.isas.jaxa.jp
10. 封筒の表に「高エネルギー天文学研究系助手応募書類在中」と朱書きして, 書留便にて郵送して下さい. 応募書類は返却いたしませんので, あらかじめご了承下さい. また, 選考に伴い発生する交通費・宿泊費については自己負担となります.

#### 早稲田大学 COE 研究員(PD)

1. 早稲田 21 世紀 COE 研究員(客員講師), 若干名
2. (1) 早稲田大学理工学研究科
- (2) 東京都新宿区大久保
3. 物理学・応用物理学
4. 早稲田大学大学院物理学及応用物理学専攻では, 2003 年度より 21 世紀 COE プログラム(5 年間継続)として“多元要素からなる自己組織系の物理”研究プログラム(拠点リーダー: 石渡信一)を推進しています. 本拠点がカバーする学問分野は, 多元要素からなる自己組織系(多種多様なオブジェクトが相互作用することによって, 自発的に新しい機能や構造を獲得する系)の物理学・応用物理学分野で, 生物物理, 物性物理, 宇宙物理などの既存の分野を有機的に結びつけ, 本プログラムにより新しい境界領域を開拓していこうというものです. この研究プログラムを推進していくために 2006 年度若手研究員を若干名募集致します.
5. (1) 2006 年 4 月以降のできる限り早い時期
- (2) 2008 年 3 月末まで(最長 2 年間)
6. 博士の学位を有する者(着任時)
7. (1) 履歴書(研究歴, 電子メールアドレスを必ず記入), (2) 業績リスト(論文リスト, 研究発表リスト等), (3) 研究計画(1,000~2,000 字程度), (4) 代表論文 3 編の別刷, をそれぞれ 2 部ずつ(コピー可).  
※研究計画に着任時期を記入のこと.
8. 2005 年 11 月 11 日(金)(必着)
9. (1), (2) 〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1

早稲田大学理工学部 21COE 物理事務局 51-06-00

松永 康

Tel: 03-5286-3849

e-mail: pinelong@mse.waseda.ac.jp

10. (1) 具体的な研究テーマおよび関連研究室についてはウェブサイト <http://www.phys.waseda.ac.jp/coe21/program/index.html> の研究プログラム, 各グループの研究テーマを参照してください。
- (2) 応募に先立って, 受け入れ研究室の事業推進担当者に直接コンタクト願います。上記ウェブサイトの事業推進担当者欄に電子メールアドレスを示しました。
11. (1) 郵送の場合は「COE 研究員応募」と朱書き, 書留としてください。
- (2) 応募書類は返却いたしません。
- (3) 電子メールによる応募も受理しますが, 送受信のトラブルなどについての責任は応募者にあるものとします。なお, 電子メールによる応募の場合, 代表論文は圧縮したファイルを送ってください。
- (4) 給与: 学内の規定に準じ年齢・業績を勘案して決定。

## 人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

### 京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室教官

1. 2004 年 10 月 (97 巻 10 号)
2. 上田佳宏 (宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部助手)
3. 2005 年 8 月 1 日

### 国立天文台理論研究部上級研究員

1. 2005 年 4 月 (98 巻 4 号)
2. 濱名 崇 (国立天文台光赤外研究部)
3. 2005 年 11 月 1 日 (予定)

## 研究会・集案案内

### 第 27 回宇宙ステーション利用計画ワークショップ開催案内

開催日時: 平成 17 年 12 月 7 日 (水) 10:00~17:30 (予定)

12 月 8 日 (木) 10:00~17:30 (予定)

開催場所: 江戸東京博物館 (〒130-0015 東京都墨田区横綱 1-4-1)

アクセス: JR 総武線両国駅より徒歩 3 分

会合の内容および目的: 国際宇宙ステーション (ISS) に参加している各国の状況および我が国の推進体制, 現状を紹介する。これにより ISS を利用する研究者ならびに国民の理解を深め, 利用の拡大・多様化を目指す。また, 国内外の環境の変化に伴う対応方策について議論を行い, ISS 利用の有効活用を図り今後の計画に反映する。

主催者名: 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構

共催者名: 文部科学省

後援団体名: 総務省 (予定)

参加費: 無料

詳細問い合わせ先: (財)宇宙環境利用推進センター

宇宙実験推進部 担当: 佐藤

〒169-8624 東京都新宿区西早稲田 3-30-16

Tel: 03-5273-2442 Fax: 03-5273-0705

e-mail: sepd@jsup.or.jp

(参考)

宇宙航空研究開発機構ホームページ:

<http://www.jaxa.jp>

(財)宇宙環境利用推進センターホームページ:

<http://www.jsup.or.jp>

## 会務案内

### 早川基金応募者募集のお知らせ

日本天文学会では若手会員(35歳以下)を対象に、「早川幸男基金」から海外学術研究の援助を行っています。観測、研究発表、共同研究など広い範囲を対象としており(それなりに審査で差はつく可能性はありますが)、現職によらず応募できます。

毎年4回(3, 6, 9, 12月の10日が締め切り)募集を行い、一年に総額200~300万円程度の渡航旅費の援

助を行っています。締め切り月の翌月の1日から3ヵ月後の月末までが期間となっている渡航が対象ですが、前回の募集に間に合わず渡航した場合でも納得する事情説明がある場合には、その直後の回の締切に応募することができます。

このような制度は他の学会ではあまり見られないものです。自分の研究そして日本の天文学の発展のために、ぜひ有効に利用してください。ふるってのご応募をお待ちしております。

応募用紙の入手や詳細については、webページをご覧ください。日本天文学会のwebページ(<http://www.asj.or.jp/>)の「委員会: 早川幸男基金」から行くことができます。

和田桂一(編集長), 今西昌俊, 亀野誠二, 齋藤正雄, 寺田幸功, 濤崎智佳, 戸谷友則, 洞口俊博, 増田 智, 矢野太平  
平成17年10月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-8 株式会社 国際文献印刷社  
定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会  
Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595  
日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

©社団法人日本天文学会 2005年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)